

令和 4 年 6 月 9 日現在

機関番号：20101

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18K10426

研究課題名（和文）先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの構築

研究課題名（英文）Development of nursing support model for fostering independence in preschoolers with congenital heart disease

研究代表者

田畑 久江 (Tabata, Hisae)

札幌医科大学・保健医療学部・准教授

研究者番号：60323408

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、先天性心疾患（CHD）をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの構築を目的に実施した。全国の熟練看護師を対象として、デルファイ法と看護支援モデルの試行を通じて作成した。

最終的に看護支援モデルは、34サブカテゴリーを含む6カテゴリー【CHDをもつ幼児が安心できる環境を作る】【CHDをもつ幼児のペース・意見を尊重する】【CHDをもつ幼児の自分のことという認識を促す】【CHDをもつ幼児が幼児なりに対処できるよう働きかける】【CHDをもつ幼児ができることを家族に伝え一緒に自立を促す】【CHDをもつ幼児が家庭生活や集団生活を送れるように多職種と連携する】で構成された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

先天性心疾患（CHD）をもつ子どもが成長して自分のからだや健康を管理していけるようになるためには、幼い頃より主体性が育まれることが必要であり、そのためには周囲の大人の働きかけが重要である。今回、作成した「先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデル」は、CHDをもつ子どもと家族にかかわる看護師にとって有用なものであり、CHDをもつ子どもの移行期ケアにつながる長期的なサポートに寄与すると考える。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to develop a nursing support model to foster independence in preschoolers with congenital heart disease (CHD). The nursing model was created through the implementation of the Delphi method and trial of the nursing support model with skilled nurses.

The final nursing support model consists of six categories, including 34 subcategories: providing a cozy atmosphere; respecting the individuality of preschoolers; encouraging self-perception; facilitating age-appropriate coping skills; encouraging preschoolers' independence from their families; and collaborating with other specialists to realize their lives both at home and in preschools and kindergartens.

研究分野：小児看護学

キーワード：先天性心疾患 幼児 主体性 看護支援モデル デルファイ法

1. 研究開始当初の背景

先天性心疾患をもつ子どもは、医療の進歩により成人を迎えられるようになったが、劣等意識や親の過保護による精神的成熟の遅れ、自分の疾患への理解の低さなどの心理社会的問題が明らかになっていった。先天性心疾患をもつ子どもは幼い頃より医師からの説明は親にされることが多く、成長して1人で受診するようになっても改めて本人に説明をされることはなく、幼い頃から説明を受けたいと考えていたことも明らかになっていった。また、思春期・青年期の先天性心疾患患者を対象とした研究は増えてきており、レジリエンスを高めるためには幼い頃から親の関わりが重要であることも明らかとなっていた。

先天性心疾患をもつ幼児・学童とその親を対象とした研究では、子どもは発達や自分の体験からも疾患を捉えるようになるが、親から疾患の説明をされていない子どもの中には知っていても療養行動ができないことや、子どもからも尋ねにくい状況となっていたことが明らかとなっていた。幼稚園教諭・保育士を対象とした研究では、先天性心疾患をもつ幼児に、他の園児を巻き込みながら集団生活の中で特別にならないように体調を探りながらかかわっていたこと、園と親の協力体制作りを行っていたことなどが明らかとなっていた。

先天性心疾患をもつ子どもが成長し自分で健康の管理をしていくためには、子どもが自分の疾患を自分のことと捉えられるように幼少期から主体性を育む必要があると考えられた。生後間もない頃から子どもと親と関わり、成長発達や生活にも目を向ける看護師が介入する必要があると考えた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの構築とした。

3. 研究の方法

(1)研究デザイン：混合研究法の順次探索的デザイン

(2)対象者：全国の先天性心疾患をもつ幼児にかかわる熟練看護師(専門看護師や認定看護師等、あるいは小児病棟や外来で5年以上の勤務経験のある看護師)

(3)調査方法：

第1段階では、先天性心疾患をもつ幼児の主体性に関する熟練看護師の認識と看護実践について郵送法による質問紙調査を行い、看護支援モデル案を作成した。

第2・3段階では、郵送によるデルファイ法を用いて、看護支援モデル案に対する同意の程度と修正点等の意見の集約を行い、看護支援モデル案の修正版を作成した。

第4段階では、看護支援モデルを6か月程度試行した熟練看護師よりインタビューで改善点等の意見を得て、看護支援モデルの最終版を作成した。

4. 研究成果

(1)第1段階

対象者の概要

48施設84人の熟練看護師より回答を得た。84人の所属する施設は、大学病院37人(44.0%)、総合病院30人(35.7%)、小児専門病院14人(16.7%)、循環器専門病院2人(2.4%)、小児科クリニック1人(1.2%)であった。先天性心疾患をもつ子どもにかかわった経験年数は、1~5年未満18人(21.4%)、5~10年未満27人(32.1%)、10~20年未満36人(42.9%)、20年以上3人(3.6%)であった。

先天性心疾患をもつ子どもの主体性に関する熟練看護師の認識

対象者の6割以上が先天性心疾患をもつ子どもの主体性に課題を示した。特に生活上の制限があることにより主体性が異なると感じていた。また、6割の看護師が主体性を育むための支援を行っていた。

先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援

熟練看護師の看護支援の自由記述内容を質的記述的分析した。その結果、589コード、38サブカテゴリー、8カテゴリーが抽出された。この38サブカテゴリーを項目として8カテゴリーで構成された看護支援モデル案を作成した。

(2)第2・3段階

第2段階では72人、第3段階では59人より回答を得た。38サブカテゴリーに対して「当てはまる」から「当てはまらない」までの4件法で回答をするデルファイ法にて「当てはまる」「ま

あまあ当てはまる」の回答が 70%以上の項目を採用した。また、それぞれの項目に対する意見を自由記述で得て、これをもとに修正した。その結果、6 カテゴリーで構成された 34 サブカテゴリーとなった。

(3)第 4 段階

対象者の概要

第 1 段階から第 3 段階までの対象者の中から 5 人、新たに 3 人の協力者を得て、合計 7 施設 8 人となった。所属施設は、小児専門病院 3 人、総合病院 2 人、循環器専門病院 2 人、大学病院 1 人であった。先天性心疾患をもつ子どもにかかわった経験年数は、1~5 年未満 1 人、5~10 年未満 2 人、10~20 年未満 4 人、20 年以上 1 人であった。対象者が看護支援モデルを試行した事例数は 2 例から 10 例以上であった。

看護支援モデル試行後の意見

看護支援モデルを試行した 7 施設 8 人の熟練看護師を対象にインタビューを行った。インタビュー内容を質的記述的分析した結果、324 コード、46 サブカテゴリー、12 カテゴリーが抽出された。

看護支援モデルに対する肯定的評価として、【大事で普段から実施していることが多い看護支援モデル】【家族と前向きに話し合い、幼児への対応方法を一緒に考える機会】【幼児の主体性を育むための看護の視点が明確であり今後も活用】の 3 つのカテゴリーが抽出された。一方、看護支援モデル実施の際の困難として、【幼児の関心の確認、わかるように説明、他の園児への答え方などへのかかわりは困難】【家族の協力がないと幼児への介入は困難】【看護師の経験や場により生じうる幼児と家族へのかかわりの困難】の 3 つのカテゴリーが抽出された。また、先天性心疾患をもつ幼児と家族に対する認識として、【幼児には力があるので、周囲の大人が作るのは制限ではなく幼児ができる環境】【幼児の育て方などに不安や悩みがある家族の頑張り認め気持ちに配慮することが大事】【幼児の主体性を育むためにも必要な施設内外の多職種連携】の 3 つのカテゴリーが抽出された。そして、看護支援モデルの改善点として、【「制限」「症状」ではなく前向きな表現に修正】【様々な場で幼児と家族に合わせて活用するものと明記】【様々な場の看護師が活用できるようにあると良い具体例】の 3 カテゴリーが抽出された。これらの意見をもとに看護支援モデルの修正を行い最終版を作成した。

最終的に「先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデル」は、34 サブカテゴリーを含む【先天性心疾患をもつ幼児が安心できる環境を作る】【先天性心疾患をもつ幼児のペース・意見を尊重する】【先天性心疾患をもつ幼児の自分のことという認識を促す】【先天性心疾患をもつ幼児が幼児なりに対処できるよう働きかける】【先天性心疾患をもつ幼児ができることを家族に伝え一緒に自立を促す】【先天性心疾患をもつ幼児が家庭生活や集団生活をおくめるように多職種と連携する】の 6 カテゴリーとなった。

本研究で作成した「先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデル」は有用であるとの肯定的評価を受けたが、看護師の経験や場により、先天性心疾患をもつ幼児とその家族へのかかわりに困難が生じるとの認識も明らかとなっている。今後、熟練看護師以外にも広く活用してもらうための方法を検討していく必要がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Tabata, H., Asari, T., Konno, M.	4. 巻 45
2. 論文標題 Problems perceived by skilled nurses regarding the independence children with congenital heart disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Comprehensive Child and Adolescent Nursing	6. 最初と最後の頁 171-181
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/24694193.2020.1839145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 田畑久江、浅利剛史、今野美紀	4. 巻 81
2. 論文標題 先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの開発 第1報	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小児保健研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 田畑久江、浅利剛史、水野芳子、今野美紀	4. 巻 81
2. 論文標題 先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの開発 第2報	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小児保健研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 田畑久江、浅利剛史、今野美紀
2. 発表標題 先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの開発第1報 - デルファイ法を用いて -
3. 学会等名 日本小児看護学会第30回学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田畑久江、浅利剛史、水野芳子、今野美紀
2. 発表標題 先天性心疾患をもつ幼児の主体性を育むための看護支援モデルの開発第2報 - 看護支援モデルの試行を通じて -
3. 学会等名 日本小児看護学会第30回学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田畑久江、今野美紀、浅利剛史
2. 発表標題 熟練看護師が先天性心疾患をもつ子どもの主体性に課題を感じた場面 - テキストマイニングによる分析より -
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tabata, H., Asari, T., Konno, M.
2. 発表標題 Practices employed by skilled nurses to foster independence in preschoolers with congenital heart disease: A text mining analysis
3. 学会等名 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田畑 久江
2. 発表標題 先天性心疾患をもつ子どもの主体性に関する熟練看護師の認識
3. 学会等名 日本小児看護学会第28回学術集会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	今野 美紀 (Konno Miki) (00264531)	札幌医科大学・保健医療学部・教授 (20101)	
研究分担者	浅利 剛史 (Asari Tsuyoshi) (40586484)	札幌医科大学・保健医療学部・講師 (20101)	
研究分担者	水野 芳子 (Mizuno Yoshiko) (20730360)	東京情報大学・看護学部・准教授 (32515)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------